

経済統計 練習問題

第4回 全数調査と標本調査(2)

2014年10月6日

問1 事業所・企業に関する全数調査において、調査票を参照しながら、調査されている項目には を、調査されていない項目には×を書き、下の表を完成させてください。(経済センサス - 基礎調査は「調査票 A」を、活動調査は「製造業」のものを参照してください。)

	経済センサス - 基礎調査	経済センサス - 活動調査	事業所・企業 統計調査	工業統計	商業統計	サービス業 基本調査
従業者数						
年間販売額(出荷額)						
用水量						
経営組織						

問2 全数調査と標本調査について、次の①～⑤のうちから、適切でない記述を一つ 選びなさい。

- ① 全数調査には標本誤差はないが、標本調査には標本誤差が含まれる。
- ② 全数調査であっても、調査対象が少なければ、標本誤差が含まれる。
- ③ 適切な標本調査にもとづけば、母集団の値を統計的に推定することができる。
- ④ 全数調査にも非標本誤差が含まれることがあるので、結果が正確とは限らない。
- ⑤ 全数調査よりも標本調査のほうが、調査を実施・運営する管理が容易な場合が多い。

(2012年 統計検定 専門統計調査士 問3)